

9 慣用句

プリンター

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉の後
の から選んで書きましよう。

慣用句

意味

- ① 頭が「」 引け目を感じて対等な関係に立てない。
- ② 頭が「」 考え方が柔軟じゅうなんでない。
- ③ 頭を「」 いろいろと思いをめぐらす。工夫くふうする。
- ④ 頭を「」 興奮こうげんした気持ちをおさえる。気持ちを冷静にする。
- ⑤ 頭を「」 髪かみをそる。また、髪かみをそって僧そうとなる。

固い 上がらない 丸める 冷やす ひねる

慣用句

意味

- ⑥ 目に「」 よく見える。目立つ。
- ⑦ 目を「」 ひいきにする。
- ⑧ 目を「」 注意してあちこちを見る。
- ⑨ 目を「」 じっと見つめる。
- ⑩ 目を「」 実際に見ても信じられないほど不思議に思ふ。

こらす つく 配る うたがう かける

9 慣用句

プリント2

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましよう。

慣用句

意味

- ① 鼻が「」 敏感びんかんで物を見つけ出すことなどに巧たくみである。
- ② 鼻で「」 相手の言葉にとりあおうとせず、冷たい態度をとる。
- ③ 鼻に「」 他人の行いなどがうっとうしく感じられる。
- ④ 鼻を「」 出しぬいてあつと言わせる。
- ⑤ 鼻で「」 相手を見下みくだしてあざけり笑う。

明かす つく 笑う あしらう きく

慣用句

意味

- ⑥ 耳に「」 情報などを知る。
- ⑦ 耳を「」 お金を不足なく用意する。
- ⑧ 耳を「」 聞こうとして注意を集中する。
- ⑨ 耳が「」 物音や世間のうわさなどを聞きつけるのが早い。
- ⑩ 耳に「」 音や声などが気になり、忘れられなくなる。

つく 入る すます そろえる 早い

9 慣用句

プリント3

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

慣用句

意味

- ① 口が「」 言うてはならないことをうっかり言ってしまう。
- ② 口に「」 飲食物の味が好みに合う。
- ③ 口を「」 白状する。
- ④ 口が「」 口数が少ない。
- ⑤ 口を「」 他人の話している途中に割りこんで話す。

はさむ

割る

合う

すべる

重い

慣用句

意味

- ⑥ 手が「」 仕事が一段落するなどしてひまができる。
- ⑦ 手が「」 手数てかずを必要とする。世話がやける。
- ⑧ 手が「」 自分の能力ではとりかかることができない。
- ⑨ 手を「」 話をまとめる。また、仲直りをする。
- ⑩ 手を「」 何もしないでただ見ているだけである。

空く

打つ

出ない

こまねく

かかる

9 慣用句

プリント4

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましよう。

慣用句

意味

- ① 腹に「」 他人に言わず心の中にしまっておく。
- ② 腹を「」 たまらず大笑いする。
- ③ 腹を「」 決心する。覚悟かくごをする。
- ④ 腹が「」 物事に動揺どうごうしなくなる。
- ⑤ 腹を「」 それとなく相手の考えをさぐり出そうとする。

すわる

さぐる

かかえる

決める

おさめる

慣用句

意味

- ⑥ 足が「」 予算または収入よりも出費が多くなる。
- ⑦ 足が「」 恐怖おそや緊張きんちやうのために足がこわばり自由に動かなくなる。
- ⑧ 足が「」 食物などが腐りくやすい。
- ⑨ 足を「」 悪い仲間からはなれる。好ましくない生活をやめる。
- ⑩ 足を「」 さらに遠くまで行く。

すくむ

早い

洗う

出る

のばす

9 慣用句

プリント5

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

慣用句	意味
① 「 <input type="checkbox"/> 」が肥える	よしあしを見分ける力が増す。
② 「 <input type="checkbox"/> 」が痛い	解決のおずかしい問題などで、心配したり悩んだりするさま。
③ 「 <input type="checkbox"/> 」がつぶれる	世間に対して面目を失う。
④ 「 <input type="checkbox"/> 」に衣を着せぬ	思ったとおりをすけすけと言う。
⑤ 「 <input type="checkbox"/> 」を加える	直したり補ったりする。

頭 顔 歯 目 手

慣用句	意味
⑥ 「 <input type="checkbox"/> 」をみかく	技能が上達するように訓練する。
⑦ 「 <input type="checkbox"/> 」が付く	犯人の身元や逃亡者の行方がわかる。
⑧ 「 <input type="checkbox"/> 」を引く	続いていた関係を断ち切るなどして退く。
⑨ 「 <input type="checkbox"/> 」に刻む	心にしっかりとどめる。
⑩ 「 <input type="checkbox"/> 」にあまる	程度がひどくて黙って見ていられないほどである。

目 手 胸 腕 足

9 慣用句

プリント6

国語のワーク5・6年生

□ 次の各文のは動物の名前を含む慣用句が使われています。「」にあてはまる言葉を後のから選んで書きましよう。

- ① 店がいそがしいので「 」の手も借りたいほどだ。
- ② 八之助はすっかりお金を使い果たして、ふところには「 」の涙ほどの小銭しか残っていないかった。

③ 新作の映画はとてもおもしろいということで、その評判は「 」のぼりだった。

④ すべての逃げ道をふさがれてしまい、もう袋の「 」だ。

⑤ 何か月もかけて準備をしてきた計画だったが、社長の「 」の一声で中止になってしまった。

⑥ どの「 」の骨とも分からない男がやってきて、突然「お前の力になろう。」

と言ってきたので、八之助は「 」につままれたような顔になった。

- つる ねずみ 猫 馬 うなぎ きつね すずめ

9 慣用句

プリント7

国語のワーク5・6年生

次の各文について、――部を言いかえるのにふさわしい慣用句を後の□から選んで「」に書きましよう。

① ヨーロッパで戦争が起きても、自分には関係ないと思っていたが、思ってもみない物価高の影響を受けて、会社の経営が危うくなってきた。

② 息子が万引きをして、警察官の父親の面目を失わせることになった。

③ 身に着けるだけでお金持ちになれるペンダントなんて、信用できない物にちがいない。

④ 朝きちんと起きて、朝ごはんをしっかり食べなさいと母親は何度もくり返して言い聞かせた。

⑤ 応援していたチームがぼろ負けしたので、とてもがっかりした。

⑥ お金持ちの家に生まれて、ずっとのん気に暮らしている。

⑦ 「お前は天才だ」というお父さんの言葉をその通りに受け止めて勉強を続けていたら、本当に一流大学に合格してしまった。

口がすっぱくなるほど	真に受ける	まゆつば物	肩を落とす
あおりを食う	顔にどろをぬる	ぬるま湯につかる	

9 慣用句

プリント8

国語のワーク5・6年生

次の各文について、――部を言いかえるのにふさわしい慣用句を後の□から選んで「」に書きましよう。

① どうしてもほしいゲームがあったので、ゴマちゃんはずっと大切においてあった一万円を貯金箱から出して使うことにした

□ 「」

② とても美しい女性が駅のホームに立っていたので、思わず見とれてしまった。

□ 「」

③ その有名人に恋人がいるというのは、でたらめなうわさだった。

□ 「」

④ 毎日欠かさずに練習を続けて来た努力の成果が現れ、大会で入賞することができた。

□ 「」

⑤ 毎日欠かさずに練習を続けてきたのに、大会で入賞することができず納得がいけない。

□ 「」

⑥ 気がついたら無人島にたった一人取り残されて、どうしてもいかに分らなくなった。

□ 「」

⑦ こんなにたくさんにんじょうみの宿題を出すなんて、あの先生はまったく人情味がない。

□ 「」

実を結ぶ ふに落ちない 血もなみだもない とほうに暮れる
 目をうばわれる とらの子 根も葉もない

9 慣用句

プリント9

国語のワーク5・6年生

次の各文は、カタカナを含む慣用句が使われています。あてはまる言葉を後の「 」から選んで「 」に書きましょう。

① 学級会でのゴマちゃんの発言は、議題からずれたものばかりで「 」が外れていた。

② 百年続いた旅館だったが、後継あとつぎがないため長い歴史に「 」が打たれた。

③ その学校は、専門家を育成するための「 」がしっかりとしかれていた。

④ しめ切りが間近にせまっていたため、仕事の「 」を上げた。

⑤ 仲間からは「弱虫」の「 」をはられていたゴマちゃんだったが、急に現れた怪物かいぶつたちを前に勇かんに戦った。

⑥ シロクマ探偵団たんていだんは、事件解決において調査の「 」を入れることにした。

⑦ 探偵団たんていだんの団長であるシロクマくんは、団長を引退し、新しい団長としてゴマちゃんに「 」をわたすことにした。

- レール
- ピッチ
- バトン
- ピント
- メス
- レッテル
- ピリオド